

広がる疑問・遊びの輪

2024/09/04

作成者：福丸直宏

武岡幼稚園 1階フロアでの出来事



外遊びで貝殻拾いに夢中なJちゃん

午前中は涼しく子どもたちと相談して園庭で遊ぶことになりました。「一緒かけっこしよー!」「鬼ごっこにするが!」と子どもたち。その中でJちゃんが「貝殻拾ってくるね!」と声をかけてくれたので、透明な入れ物を渡しました。

園庭から部屋に帰る際に、「見て、いろんな色があったんだよ!」と自慢気に見せにきてくれた時の表情は『面白いこと見つけた!!』という心の声が溢れ出しそうな表情でした。



朝の会でみんなに共有

そのことを朝の会でお友達と共有したところ、Jちゃんが「これはお母さんにプレゼントするために取ったからあげられないけど、見せるのはいいよ！」と友達に見せてあげることに。すると一人の男の子が「水で洗ったら綺麗になると思う」と教えてくれました。

プレゼントを綺麗に洗ってから持ち帰る。それもいいね。と、Jちゃんは貝殻を洗ってみることにしました。



沈むかな？浮かぶかな？

朝の会が終わった後に貝殻を洗ってみることに決めたJちゃん。その考えに今度は違う子が「貝殻って浮くのかな？沈むのかな？...僕は沈むと思う！！」と、なんだか面白そうな展開に！

子どもたちと一緒にワクワクして水道へ向かい、水を容器に入れると、男の子の予想通り、沈みました。「やっぱり！だって貝は海の下にいるからね！」とにっこり。それぞれの想いやアイデアがどんどん言葉として伝わっていきます。



共有することで広がる疑問・遊びの輪

朝の会での共有の時間から、Jちゃんの気持ちを考えた「洗ってキレイにしてあげたら？」というアイデアが生まれたり、洗うことによって「浮くのか・沈むのか」という子どもたちの興味が広がり、仮説を立てて実験する。子どもたちの科学する心がどんどん深まりを見せた瞬間でした。その後は、キレイになった貝殻を見て「光が当たるとキレイだと思う！」というアイデアが生まれ、実際に光らせてみると、なんと貝殻の色が変化し出しました。それには子どもたちも大興奮。遊びの中で気づき、伝え、考え、実験する。子どもたちの遊びの世界がこんなにも面白くワクワクするものなのだ、私も大興奮でした。